# ミニディスクロージャー誌 2010

## 第108期　営業の中間ご報告

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

こころのぎんこう
長崎銀行

# ごあいさつ

日頃より、長崎銀行を格別にお引き立ていただき、心からお礼申し上げます。

さて、長崎銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくために「ミニディスクロージャー誌2010、第108期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。本冊子では当行の平成22年度中間期の経営内容や考え方などをわかりやすく説明しております。皆さまのご理解を深めることができましたら幸いに存じます。

今後とも、皆さま方のなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

取締役頭取 大場 剛

## CONTENTS


●経営方針……2
●決算ハイライト……3
●資産の健全性……5
●地域社会貢献／トピックス……6
●地域密着型金融推進への取り組み……7
●個人のお客さま向けサービスのご案内……8
●中間財務諸表……9
●株式のご案内……10
●ネットワーク一覧……裏表紙


## プロフィール （平成22年9月30日現在）

| | |
|---|---|
| 創業 | 大正元年（1912年）11月11日 |
| 資本金 | 41億円 |
| 総資産 | 2,775億円 |
| 自己資本比率 | 8.66% |
| 預金残高 | 2,613億円 |
| 貸出金残高 | 2,048億円 |
| 店舗数 | 32か店 |
| 行員数 | 351名 |

※計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

# 経営方針

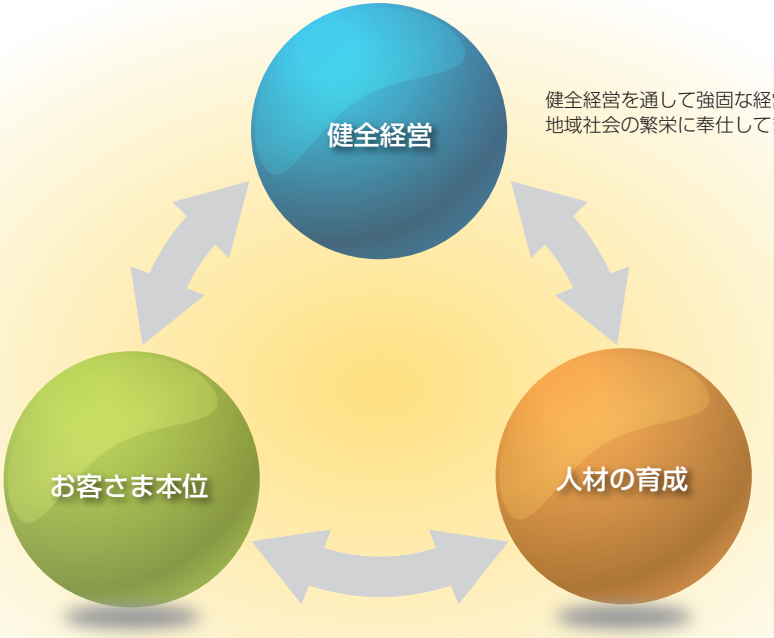
## 経営理念

長崎銀行は、地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行をめざして、さらに努力してまいります。

**「お客さま本位」のもと**
**「健全経営」に徹し**
**「地域社会に奉仕」する**

## 経営方針

長崎銀行は経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。




健全経営を通して強固な経営体質を築き、地域社会の繁栄に奉仕してまいります。

いつも「お客さま第一」の精神に基づき、より良い金融サービスの提供に努め、地域の皆さまの信頼と期待に応え得る銀行をめざします。

環境の変化に柔軟かつ機敏に対応できる行動力とチャレンジ精神を持った行員の育成に努め、行員一人ひとりが持てる力を十分に発揮できる、のびのびと活動的な風通しのよい企業風土の確立をめざします。

## 経営姿勢

長崎銀行は健全経営を堅持し、地域の皆さまとともに歩む銀行であることを願い、つねに「お客さま第一」の精神に基づき、お客さまとの信頼のきずなを深めてまいりました。

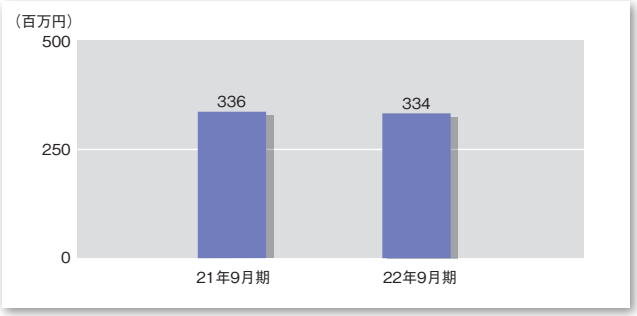
これからも、親会社である西日本シティ銀行とも十分連携し社会の変化を先取りできる清新はつらつとした行員の育成に努め、地域金融機関としての使命をもって、地域に密着し、地域社会の発展に奉仕するとともに地域に支持される銀行をめざして努力を重ねてまいります。

# 決算ハイライト

## 損益

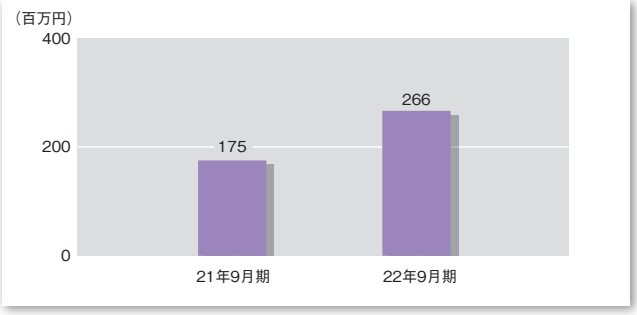
### コア業務純益

コア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息の減少等による業務収益の減少が、預金利息、役務費用、経費の減少等による業務費用の減少を上回り、前中間期比2百万円減少し、3億34百万円となりました。



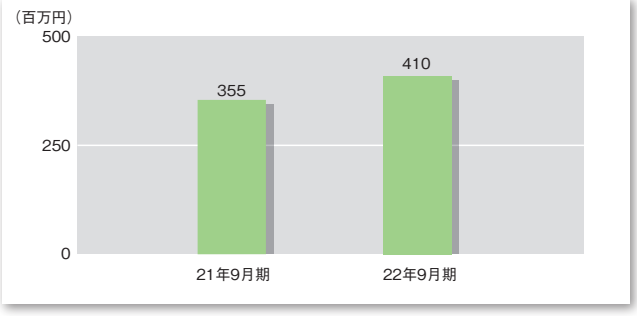

### 経常利益

経常利益は、株式等償却の減少及び不良債権処理損失額の減少を主因として前中間期比91百万円増加し、2億66百万円となりました。




### 中間純利益

中間純利益は、貸倒引当金戻入益の減少等により特別損益が減少したものの、経常利益の増加により前中間期比55百万円増加し、4億10百万円となりました。



**用語解説**

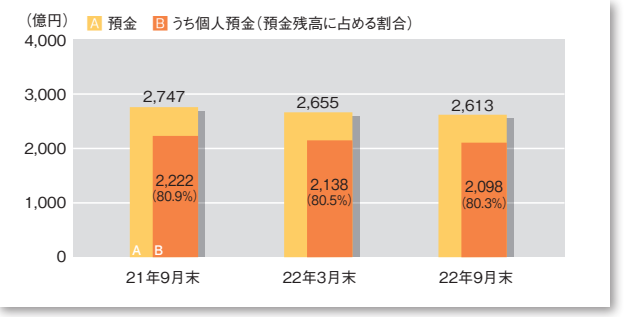
**1.コア業務純益とは** 預貸金業務などによる資金利益や投資信託等の販売手数料などの役務取引等収益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行本来の業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

**2.経常利益とは** 銀行の通常業務での利益を表したもので、通常業務で発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。

**3.中間純利益とは** 経常利益に特別に発生した利益と損失（特別利益、特別損失）と税金等を加減算したもので最終的な利益です。

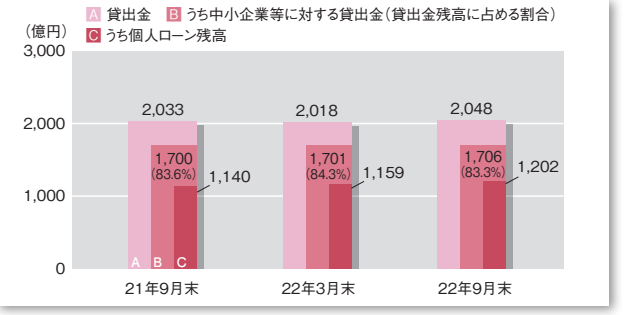
## 預　金

預金は、個人預金を中心に積極的な営業活動を行いましたが、前事業年度末比42億円減少し、2,613億円となりました。また、個人預金は、前事業年度末比40億円減少し、2,098億円となりました。



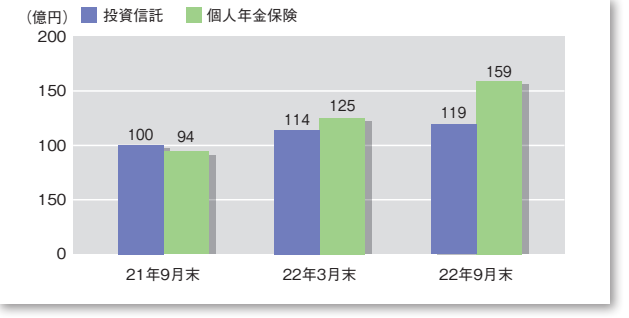

## 貸出金

貸出金は、個人・中小企業などのリテール部門を中心とした資金需要に積極的に対応を行いました結果、前事業年度末比30億円増加し、2,048億円となりました。また、個人ローン残高は、前事業年度末比43億円増加し、1,202億円となりました。中小企業等向け貸出金残高につきましても、前事業年度末比5億円増加し、1,706億円となりました。




## 預り資産

預り資産は、投資信託が前事業年度末比5億円増加し119億円、個人年金保険が前事業年度末比34億円増加し159億円となりました。




（注）投資信託：残高、個人年金保険：販売累計額

# 資産の健全性

## 不良債権の状況

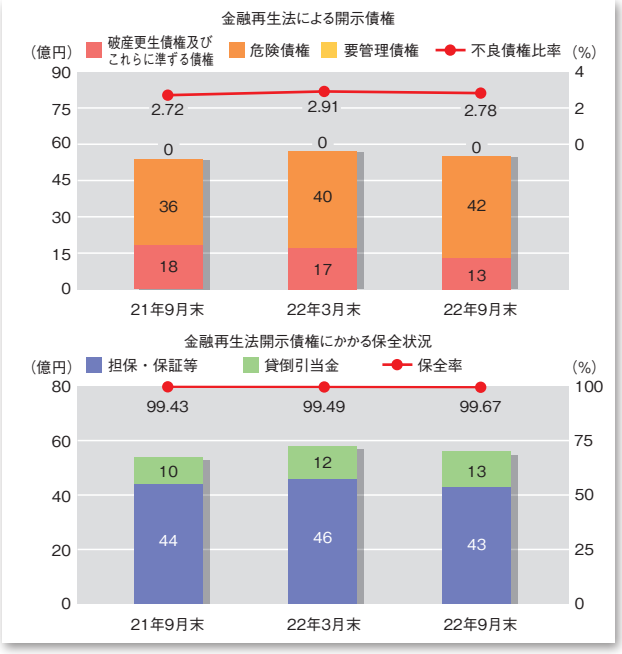
平成22年9月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前事業年度末比2億円減少の57億円となり、不良債権比率は前事業年度末比0.13%低下し、2.78%となりました。

また、保全率については、99.67%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。

今後も引き続き、不良債権残高の縮減を図るとともに、新規発生防止に努めてまいります。

金融再生法に基づく開示債権の状況（平成22年9月末）　（億円）

| | 債権額（A） | 貸倒引当金（B） | 担保・保証等（C） | 保全率（B＋C）÷（A） |
|---|---|---|---|---|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 13 | 2 | 11 | 100.00% |
| 危険債権 | 42 | 10 | 32 | 100.00% |
| 要管理債権 | 0 | 0 | 0 | 73.33% |
| 小計 | 57 | 13 | 43 | 99.67% |
| 正常債権 | 1,996 | | | |
| 合計 | 2,053 | | | |



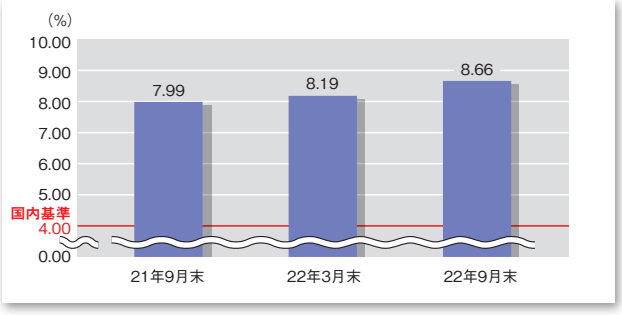

**用語解説**

1. **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**　破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始申立て等の事由により経営破綻した債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
2. **危険債権**　債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権。
3. **要管理債権**　3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
4. **正常債権**　債務者の財政状況などに特段の問題が無く、上記以外に区分される債権。

## 自己資本比率

自己資本比率とは、総資産（資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額）に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成22年9月末の自己資本比率は、8.66%と国内基準を上回っております。



# 地域社会貢献／トピックス

## 地域行事への参加

### ■ 市民大清掃への参加

美しい街づくりに対する市民の意識の高揚を図り、快適な環境を築いていくことを目的として毎年長崎市で行われる「市民大清掃」に当行も毎年多くの役職員が参加し、きれいな街づくりのための清掃活動に取り組んでおります。

### ■ 長崎くんちへの参加

「長崎くんち」は毎年10月7日から3日間行われる長崎市の氏神諏訪神社の秋季大祭で、国指定重要無形民俗文化財にも指定されています。

長崎くんちでは奉納踊りを担当する踊町、祭りの世話役にあたる年番町は旧長崎市内の各町が交代でつとめており、当行も支店のある町や行員の住む町が当番に当たるときは積極的に参加し、地域の皆さまのお手伝いをさせていただいております。

今年は本店営業部の所在地である栄町が年番町となり、当行からも役職員が参加いたしました。

## トピックス

### ■ 広告電車登場

長崎市の中心部を走る路面電車は、長年にわたって長崎市民の足として親しまれております。町を行き交う人々にアピールする情報発信媒体として当行のコーポレートカラーを身にまとったカラー電車が登場しました。

# 地域密着型金融推進への取り組み

当行は、西日本シティ銀行グループのエリアカンパニーとして、長崎県内を中心にリテール分野に特化し、多様化したニーズや質の高い金融サービスの提供等、お客さまの要望に十分お応えできる地域金融機関をめざし、地域密着型金融の推進への取り組みを進めております。

## ① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

西日本シティ銀行グループとの連携を図りながら、「事業再生」「創業・新事業支援」「経営改善支援」「事業承継」等の業務に積極的に取り組み、取引先企業のライフサイクルに応じたきめ細かい支援を行っております。

## ② 事業価値を見極める融資をはじめ、中小企業に適した資金供給方法の徹底

無担保・第三者保証人原則不要商品である「ながさき事業者ローンⅡ」の取り扱いなど、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を推進し、地域の中小企業金融の円滑化に努めております。また、事業性融資に関する開拓能力及び融資能力の向上に努め、取引先企業の経営改善のお手伝いができる人材の育成に努めております。

### ■「ながさき事業者ローンⅡ」取り扱い中

地元中小企業、事業主の皆さま向けの季節運転資金や経営安定資金にご利用いただく、無担保・第三者保証人原則不要商品である「ながさき事業者ローンⅡ」の取り扱いを行っております。

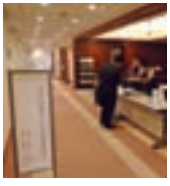
・ご融資金額：１百万円～６百万円
・期　　間：短期１年以内、長期７年以内
・お使いみち：事業資金に限ります

※詳しくは、担当者又は窓口でお気軽にお尋ねください。

## ③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

「商談会」「各種セミナー」の開催、「ローンプラザ」の設置等による地域に対する情報の提供及び「利用者満足度アンケート」の結果に基づくＣＳ向上策の策定・実践により、お客さまや地域のニーズにあった質の高い金融サービスの提供を通じて、地域社会の活性化・発展に取り組んでおります。

東急ハンズ商談会



NCB暮らしの合同商談会

平成21年12月の「中小企業業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行等を踏まえ、当行では、新規のお借入れ及びお借入れ条件の変更等に係るお客さまからのご相談等に、より迅速かつ適切に対応できるように、体制を強化しております。また同時に、中小企業事業者の方々の経営改善支援への相談・指導といったコンサルティング機能の充実に努め、金融円滑化推進への取り組みをさらに強化してまいります。

## ■ ご相談・お申込み、及び苦情等受付窓口の体制について

| 中小企業者のお客さま | 住宅ローンご利用のお客さま |
|---|---|
| ・すべての営業店ご融資窓口 | ・すべての営業店ご融資窓口<br>・ながさきローンプラザ<br>0120-64-7171 |

上記窓口の営業店長を「金融円滑化相談責任者」とし、金融円滑化に関するお客さまからのご相談・お申込み、及び苦情等に対応するとともに、その内容の把握や進捗管理に努めます。

| 金融円滑化に関する苦情相談電話窓口 |
|---|
| 0120-855-875<br>【受付時間】平日9：00～17：00（銀行窓口休業日を除く） |

お客さま相談室内に「金融円滑化対応苦情相談窓口」を設置し、お客さまからの苦情等に直接対応いたします。

# 個人のお客さま向けサービスのご案内

## ■ マネーのご相談ならお任せください

お客さまの資産運用ニーズに、当行スタッフが「ふやす・つかう・のこす」方法を総合的にアドバイスします。

「充実したセカンドライフを過ごしたい…。」「愛する家族に円満・確実に遺したい…。」

お客さまのお金に関するさまざまなニーズに適したご提案やアドバイスをいたします。

「定期預金」をはじめ、「投資信託」「個人年金保険」「終身保険」などのラインナップを揃えており、バランスよく資産形成のお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

## ■ ご来店不要でローン申込ができる窓口があります

「ローンの相談はしたいけど店頭まで行く時間がなくて…。」そんなお客さまに気軽にご利用いただきたいフリーダイヤルがあります。ローン商品のご相談やお申込みができる「ダイレクトセンター」です。

また、パソコンや携帯電話画面でいつでも便利に各種ローンのシュミレーションやご相談、仮審査のお申込みなどができるローン専用サイト「２９６９１９.jp」もご利用ください。

**ローン商品については**

ダイレクトセンター
ツクロー　クイック
**0120-296-919**

ローン専用サイト
**URL 296919.jp** へアクセス

## ■ 週末も住宅ローンのご相談にお越しください

「土日にゆっくり住宅ローンの相談をしたいな。」さまざまな生活スタイルのお客さまが気軽に住宅ローンについてご相談いただけるように、土・日曜日の相談窓口として「ながさきローンプラザ」を開設しております。

ご自宅の新築・ご購入、既存の住宅ローンのお借り換えなどの住宅に関するローンについてお気軽にご相談ください。

（注）営業時間、営業日については、右表をご覧ください。

**◎住宅（新築・購入）◎アパート ◎借り換え**

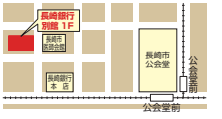
資金計画、お借り入れについてご相談を承っております！

個人のお客さまをはじめ、ハウスメーカーの方もお気軽にお立ち寄りください。

◎平　　日／AM10:00～PM7:00
◎土・日曜日／AM　9:00～PM5:00

※但し、毎週水曜日、祝日（祝日が日曜日の場合翌月曜日）、12/31～1/3は定休日

◎ながさきローンプラザ
フリーダイヤル 0120 携帯・PHS OK
**0120-64-7171**
長崎市栄町1-15　長崎銀行別館 1F
TEL 095-829-4371　FAX 095-829-4372




## ■カンタン、ラクラク「ながさきインターネットバンキング」

「振込をしたいけど、今日は窓口に行く時間がない…。」

そんな時ご利用いただきたいのが個人のお客さま向けダイレクトバンキングサービス「ながさきインターネットバンキング」。

来店不要でお振込や預金のお振替などの手続きができる「ブラウザバンキング」「モバイルバンキング」があります。

お手続きは、メールオーダーでラクラクお申込み！とっても便利です。

（注）ご利用には事前の登録お申込みが必要です。

# 中間財務諸表

## 中間貸借対照表

（平成22年9月30日現在）　（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| **資産の部** | |
| 現金預け金 | 66,478 |
| 商品有価証券 | 3 |
| 貸出金 | 204,893 |
| その他資産 | 1,772 |
| 有形固定資産 | 5,724 |
| 無形固定資産 | 118 |
| 繰延税金資産 | 501 |
| 支払承諾見返 | 265 |
| 貸倒引当金 | △2,179 |
| 資産の部合計 | 277,577 |

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| **負債の部** | |
| 預金 | 261,387 |
| 借用金 | 4,000 |
| その他負債 | 1,243 |
| 未払法人税等 | 18 |
| リース債務 | 131 |
| 資産除去債務 | 23 |
| その他の負債 | 1,070 |
| 退職給付引当金 | 716 |
| 役員退職慰労引当金 | 24 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 33 |
| 偶発損失引当金 | 61 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,127 |
| 支払承諾 | 265 |
| 負債の部合計 | 268,860 |
| **純資産の部** | |
| 資本金 | 4,121 |
| 資本剰余金 | 2,500 |
| その他資本剰余金 | 2,500 |
| 利益剰余金 | 625 |
| 利益準備金 | 45 |
| その他利益剰余金 | 580 |
| 繰越利益剰余金 | 580 |
| 自己株式 | △35 |
| 株主資本合計 | 7,211 |
| 土地再評価差額金 | 1,504 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,504 |
| 純資産の部合計 | 8,716 |
| 負債及び純資産の部合計 | 277,577 |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）　（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 経常収益 | 3,180 |
| 資金運用収益 | 2,837 |
| （うち貸出金利息） | (2,622) |
| （うち有価証券利息配当金） | (0) |
| 役務取引等収益 | 315 |
| その他業務収益 | 0 |
| その他経常収益 | 27 |
| 経常費用 | 2,913 |
| 資金調達費用 | 356 |
| （うち預金利息） | (317) |
| 役務取引等費用 | 388 |
| その他業務費用 | — |
| 営業経費 | 2,102 |
| その他経常費用 | 65 |
| 経常利益 | 266 |
| 特別利益 | 183 |
| 貸倒引当金戻入益 | 111 |
| 償却債権取立益 | 47 |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 24 |
| 特別損失 | 33 |
| 固定資産処分損 | 14 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 19 |
| 税引前中間純利益 | 417 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5 |
| 法人税等調整額 | 1 |
| 法人税等合計 | 7 |
| 中間純利益 | 410 |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間株主資本等変動計算書

（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）

（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| **株主資本** | |
| **資本金** | |
| 前期末残高 | 4,121 |
| 当中間期変動額 | |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | 4,121 |
| **資本剰余金** | |
| **その他資本剰余金** | |
| 前期末残高 | 2,500 |
| 当中間期変動額 | |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | 2,500 |
| **資本剰余金合計** | |
| 前期末残高 | 2,500 |
| 当中間期変動額 | |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | 2,500 |
| **利益剰余金** | |
| **利益準備金** | |
| 前期末残高 | — |
| 当中間期変動額 | |
| 利益準備金の積立 | 45 |
| 当中間期変動額合計 | 45 |
| 当中間期末残高 | 45 |
| **その他利益剰余金** | |
| 繰越利益剰余金 | |
| 前期末残高 | 440 |
| 当中間期変動額 | |
| 利益準備金の積立 | △45 |
| 剰余金の配当 | △225 |
| 中間純利益 | 410 |
| 当中間期変動額合計 | 140 |
| 当中間期末残高 | 580 |
| **利益剰余金合計** | |
| 前期末残高 | 440 |
| 当中間期変動額 | |
| 利益準備金の積立 | — |
| 剰余金の配当 | △225 |
| 中間純利益 | 410 |
| 当中間期変動額合計 | 185 |
| 当中間期末残高 | 625 |
| **自己株式** | |
| 前期末残高 | △35 |
| 当中間期変動額 | |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | △35 |
| **株主資本合計** | |
| 前期末残高 | 7,026 |
| 当中間期変動額 | |
| 利益準備金の積立 | — |
| 剰余金の配当 | △225 |
| 中間純利益 | 410 |
| 当中間期変動額合計 | 185 |
| 当中間期末残高 | 7,211 |
| **評価・換算差額等** | |
| **土地再評価差額金** | |
| 前期末残高 | 1,504 |
| 当中間期変動額 | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | — |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | 1,504 |
| **評価・換算差額等合計** | |
| 前期末残高 | 1,504 |
| 当中間期変動額 | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | — |
| 当中間期変動額合計 | — |
| 当中間期末残高 | 1,504 |
| **純資産合計** | |
| 前期末残高 | 8,531 |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △225 |
| 中間純利益 | 410 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | — |
| 当中間期変動額合計 | 185 |
| 当中間期末残高 | 8,716 |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 株式のご案内

| | |
|---|---|
| 決算日 | 毎年3月31日に決算を行います。 |
| 定時株主総会 | 毎年4月1日から3か月以内に開催いたします。 |
| 配当金 | 毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。<br>なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 |
| 基準日 | 定時株主総会の基準日については3月31日といたします。<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 公告掲載新聞 | 「日本経済新聞」及び「西日本新聞」に掲載いたします。 |

| | |
|---|---|
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号<br>日本証券代行株式会社 |
| 株式事務取扱場所 | 〒810－0001<br>福岡市中央区天神2丁目14番2号<br>日本証券代行株式会社福岡支店<br>電話　福岡（092）741－0284 |
| 郵便物送付先<br>お問合せ先 | 〒137－8650<br>東京都江東区塩浜2丁目8番18号<br>日本証券代行株式会社　代理人部<br>（住所変更等用紙のご請求）0120－707－842<br>（その他のご照会）0120－707－843 |
| 同取次所 | 日本証券代行株式会社　本店及び全国各支店 |

## ■店舗一覧

（平成22年9月30日現在）

| | | |
|---|---|---|
| 長崎県 | ◎本店営業部 | ☎095-825-4161 |
| | ◎銅座町支店 | ☎095-826-9261 |
| | ◎千歳支店 | ☎095-849-1130 |
| | ◎浦上支店 | ☎095-844-0104 |
| | ◎新大工町支店 | ☎095-826-6361 |
| | 思案橋支店 | ☎095-826-7146 |
| | 長崎駅前支店 | ☎095-826-9338 |
| | ◎滑石支店 | ☎095-856-2161 |
| | 江川支店 | ☎095-878-5115 |
| | 城山支店 | ☎095-847-1020 |
| | ◎長与支店 | ☎095-883-6221 |
| | 新戸町支店 | ☎095-878-1709 |
| | ◎戸石支店 | ☎095-830-1121 |
| | ◎時津支店 | ☎095-840-2230 |
| | ◎諫早支店 | ☎0957-22-3347 |
| | ◎大村支店 | ☎0957-52-3181 |
| | ◎島原支店 | ☎0957-62-4121 |
| | ◎口之津支店 | ☎0957-86-4151 |
| | ◎有明支店 | ☎0957-68-1131 |
| | 三会支店 | ☎0957-62-6868 |
| | 西大村支店 | ☎0957-53-6210 |
| | ◎佐世保支店 | ☎0956-22-6171 |
| | 大崎支店 | ☎0959-34-2051 |
| | 早岐支店 | ☎0956-38-3151 |
| | ◎大瀬戸支店 | ☎0959-22-0073 |
| 佐賀県 | 佐賀支店 | ☎0952-24-2281 |
| | 唐津支店 | ☎0955-72-5148 |
| | 有田支店 | ☎0955-42-4104 |
| 熊本県 | 熊本支店 | ☎096-352-7155 |
| | 八代支店 | ☎0965-32-3161 |
| | 天草支店 | ☎0969-22-5221 |
| | 水前寺支店 | ☎096-381-9281 |

（注）・◎…土曜日、日曜日、祝日にATMコーナーがご利用いただけます。
・ATM稼働時間内はご入金ができます。

## お問い合わせ窓口

キャッシュカードなどを紛失したとき

●銀行営業日 9：00～17：00は『お取引店』へ
●上記以外の時間帯は

**095-849-6092** ※24時間365日受付

商品の説明・勧誘などについてお気づきの点、ご要望

**人事総務部　お客さま相談室**

**095-829-4100** ※平日9：00～17：00
（銀行窓口休業日を除く）

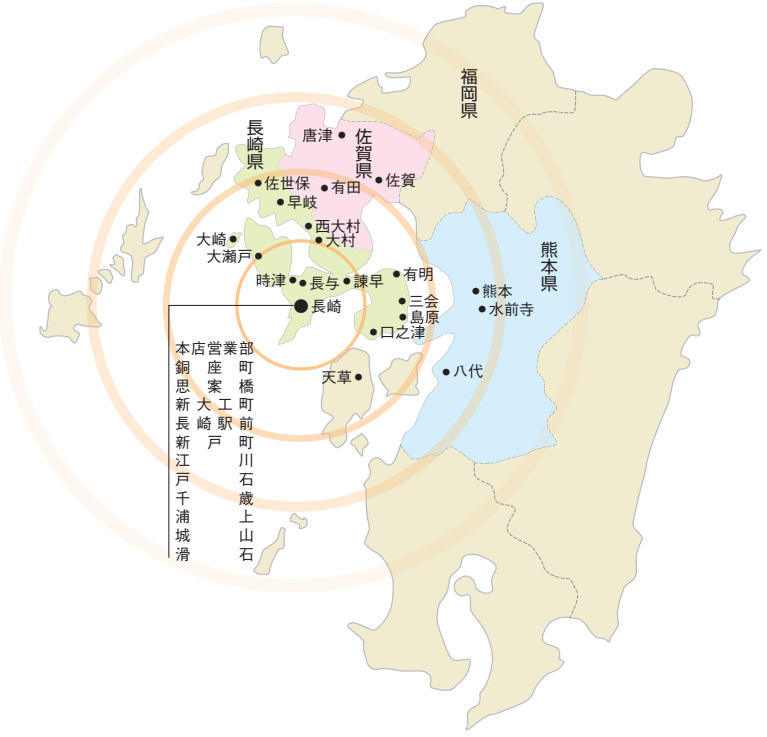
## ■店舗外キャッシュコーナー

（平成22年9月30日現在）

| | |
|---|---|
| ATM | ◎三原台病院 |
| | ◎夢彩都 |
| | ◎住吉 |
| | 昭和町 |
| | ◎道の尾 |
| | ◎みらい長崎ココウォーク |
| | ◎浜町 |
| | ◎アミュプラザ長崎 |
| | ◎滑石ショッピングセンター |
| | ◎ジョイフルサンショッピングプラザ江川店 |
| | ◎ジャスコ時津店 |
| | ◎ジャスコ東長崎店 |
| | ◎福田 |
| | ◎ジャスコ大村店 |
| | ◎まるたか富の原店 |

## ■店舗配置図

（平成22年9月30日現在）




こころのぎんこう 長崎銀行

発行2010年12月　編集／長崎銀行　総合企画部
〒850-8666　長崎市栄町3番14号　電話095-825-4151
http://www.nagasakibank.co.jp

VEGETABLE OIL INK